

競技・審判上の注意（ABC大会用）

- (1) 本大会は（公財）日本バドミントン協会平成29年度競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- (2) 審判は全ての試合、大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは男女A、Bグループの準決勝より配置し、その他の試合においては原則としてつけません。
- (3) タイムテーブルは試合の順序を示しています。試合の進行は、「流し込み方式」としますので進行のアナウンスには十分注意して下さい。アナウンスがあり次第、監督・コーチ・選手は所定の選手集合所に集合して下さい。
- (4) 試合(マッチ)が連続した場合は、原則として前のマッチが終了してから15分後に、次のコールをするものとします。
- (5) リーグ戦の順位決め方については、①勝ち数の多いもの、②総得失ゲーム率の高い者、③総得失点率の高い者、④直接対決で勝った者の順番で決めるものとします。
- (6) 3位決定戦は行いません。
- (7) コートへの入場は、主審の先導により組み合わせ番号の若番の選手から行い、退場は主審の先導により勝者から行います。
- (8) Cグループは15点3ゲーム（ファイナルゲームは8点でチェンジエンズ）マッチで行います。スコアが14点オールになった場合、どちらかの選手が2点リードするか、その後20点オールに達したら21点目を最初に得点した選手を勝者とします。
- (9) すべてのゲーム中に、一方の選手のスコアが11点（Cグループでは8点）に達した時に、60秒を超えないインターバルを、第1ゲームと第2ゲーム、第2ゲームと第3ゲームの間では、120秒を超えないインターバルをとることができます。その際、主審が「(コート番号) 20秒」とコールをしたら、すみやかにコート内に入って下さい。また、アドバイスなどで、コートに入れるのは同時に2名までであるが、主審の「(コート番号) 20秒」のコールがかかったら、すみやかにコートから離れて下さい。
- (10) 選手はマッチ中、所定のインターバル以外に、インプレーでないときに限り、アドバイスを受けますが、試合進行を妨げる（遅延行為）とみなされるものになってはいけません。
- (11) 各エンドにあるコーチ席（2席）に着席の際には、必ずIDカードを身につけてください。許可されたインターバルの間を除き、指定された椅子に着席するものとし、マッチ（試合）中は、立ち上がったたり、コートのそばに立ったりしてはいけません。また、コーチが他のコートへ移動する際はインプレーでない時に行ってください。また、インプレー中に声を出したり、ジェスチャーをしたり等の行為をしないで下さい。うちわを叩いたりする行為も禁じます。
- (12) 競技フロア内での携帯電話などの使用は一切認めません。また、モバイル機器（携帯電話 ipad など）を用いたマッチ中のアドバイスやコーチングを禁じます。
- (13) コーチ席での服装等は、公認審判員規程第3条第5項（6）②「コートの外からのアドバイス」に準ずるものとします。競技フロアでは必ず体育館シューズを履いて下さい。
- (14) 選手はいかなることがあっても、体力の回復を図るためにプレーを中断してはいけません。汗ふきや靴ひもをしめなおすなどのため、進行を妨げない限りでプレーを中断する時は、必ず主審の許可を得てからすみやかに行ってください。
- (15) マッチ中の水分補給は、インターバルの間を除き、主審の許可が出た場合に認めます。なお、使用する容器は、フタやキャップが付いている水分のこぼれないものを使い、あらかじめコート横にあるカゴの中に入れてください。

- (16) 氷のうはインターバル中のみ使用できます。プレー中は保冷器（クーラーバッグ）に入れ、コーチ席で保管して下さい。なお状況により、コーチ席に人が着くことができない場合には主審に申し出て下さい。
- (17) マッチ中に発生したコート内でのケガや病気に対して、通常コート内に入れるのは、レフェリーが必要と判断した医療役員やその他の人に限り、その時はレフェリーの判断に従ってください。
- (18) 審判員の判定に対して疑問がある場合は、次のサービスが行われる前に、当該選手に限り、主審に質問ができます。それが、「抗議」や「異議」になっては絶対にいけません。
- (19) マッチ中の服装は、白または（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、選手は、ウェア背面上部に、「都道府県名、氏名」が明記されているものを必ず着用してください。なお、ゼッケンは本人確認がしっかりできるようにするため、必ず4カ所留めにしてください。チーム名やマークについては、袖及び胸のいずれかに、50cm²以内のものをつけることを認めます。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れて下さい。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れて下さい。
- (20) マッチ前の公式練習はありませんが、審判の準備が整うまでのウォーミングアップを認めます。
- (21) 選手は、試合開始前及び終了後に、主審及びサービスジャッジ（配置されていない場合は不要）と握手することを心がけて下さい。
- (22) 線審が明らかに間違った判定をしたと主審が判断したら、主審は判定を訂正することができます。
- (23) 観客席からの助言や指導、フラッシュ撮影など、マッチの進行に支障があると思われる行為やマナーに反する行為を禁止します。

一 般 注 意 事 項

- (1) 体育館内はメインアリーナ及びサブアリーナの競技フロアは全てが土足禁止です。必ず上履きに履き替えて下さい。その他観覧席等は、土足でもかまいません。
- (2) 観覧席は地区ブロックごとに場所を指定(表示)してあります。マナーを守ってご利用下さい。
なお、盗難事故が多発しております。各自、貴重品等の管理をお願いします。但し、前3列は応援席として開放するため、荷物等を置かないで下さい。
- (3) 団旗等は、ブロック割当ての観覧席のところに掲示して下さい。但し、プレーや観戦の妨げになる時には位置を変えさせていただく場合があります。
- (4) ゴミは各自持ち帰るようにお願いします。
弁当の空き箱は、業者の指定した時刻までに弁当引換所にお返し下さい。
決められた時刻を過ぎた場合は各自持ち帰りになります。
- (5) 開会式に入場行進を行います。選手は、15時40分前までに選手集合所の都道府県プラカード前に集合し、係員の指示に従って下さい。競技の時と同じ服装で参加して下さい。
- (6) 観覧席での飲食は施設管理者の指示で厳禁となります。ロビーにて飲食をお願いします。

《熱中症予防に関して》

- (1) 競技中の水分補給は両会場とも随時認めます。（ただし主審の許可を得た時に限ります。）
審判員・競技役員にも徹底させます。
- (2) 北海きたえーるでは空調は行っています。
- (3) 看護師を会場に1名常時駐在させます。